

台風一過とはいかず

機体は左へ大きく旋回しながら高度下げ始めた。時計に目をやると8時を回ったところだった。台風一過の青空を期待していたが、羽田発広島行きの始発便は地面を見ることなく飛行を続けてきた。やがて高度が下がってくると雲の隙間に中国山地が見えてきた。田植えの終わった棚田の水面がきらきらと輝いていた。間もなく飛行機は広島空港へ。ここから市内へはバスで1時間弱。広島西空港が使えばいいのに。

さようなら水辺のステージ！？

会場は基町環境護岸。太田川沿い、原爆ドームの少し上流、広島市民球場からすぐ近くです。会場に行ってみるとすでに会場にはステージが。聞くとこれは市民参加型ステージということで、春休みにボランティアの方に加え学生さん達が参加して2週間で組み立てたそうです。はじめは不慣れた学生さんも10日も経つとプロの大工の様にてきぱきと動き回っていたそうです。そんなステージも出水期を向かえるためこのイベントを最後に一度撤去され、秋口には組み立てたいとのことでした。



素敵な時間にはお金を払ってもいい

このコンサートの主催は水の都協会準備会。水辺で誰もが気軽に楽しんでもらいたいとの活動の一環だそうです。おもしろいと思ったのは会費制（つまり有料）であるということ。もちろん、川辺でやっているのですから誰でも音楽を聞くことが出来るのですが、会費1000円を払って頂いた方にはゆっくり音楽を聴くためのイスを貸し出し、コーヒー1杯飲むことができるというシステムになっていました。水辺で楽しんでもらうための会の活動に対し賛同を得られるのか、そのために有料という手段が適当であるのかを試す実験でもあるそうです。正直「お金を出してまでイスはいらないよ」という人が多いのではと思っていたのですが（失礼!）、150人ほどの人がイスに座ってJAZZを楽しんでいました。つまり水辺で音楽を聴きながら素敵な時間を過ごすことに対しお金を払ってもいいという人がたくさんいるんですね。コンサートが始めるころには真夏のような太陽が照りつけてお客さんもバテ気味でありましたが、2組のアーティストの音楽を心ゆくまで楽しんでいました。



錦帯橋へ

現在架け替えが行われている岩国市の錦帯橋。出水期は作業は行われないうことで今年の晩秋から第3期目の工事が行われるとのこと。岩国の駅からバスに揺られて15分程度、一度行って見たかった錦帯橋は水面に美しい姿を移していました。ロープウェイに乗れば山の上に見える岩国城に行くことが出来るのですが今回は時間がなくお預け。錦川の上流もすばらしくいいところらしいのでまたの機会に来てみたいと思っています。

広島名物はこれ！

せっかく広島に来たら食べましょう。お好み焼き？つけ麺？もみじまんじゅう？初めて食べたのですがこれがおすすです。

「あなご飯」。地元の方が一番おいしいと連れて行ってくれたのが宮島口にある「うえの」というお店。平日だったのですがお昼時は行列が出来ていました。「無性に食べたくなる」というその味は予想に反してあっさりしてしかも穴子がたくさん入っています。ウナギの蒲焼きのようなこってりした味ではない



のでさらっと食べることが出来ます。宮島で行く際には是非寄ってみてください。ちなみにもみじまんじゅうにもここが好きというのがあるそうです。こだわりが深い。
